

2022年度「教職員アンケート」結果

【ABC評価】 A:3.4以上 B:3.4未満～2.8以上 C:2.8未満

【4点評価】 4点:当てはまる 3点:どちらかといえば当てはまる 2点:どちらかといえば当てはまらない 1点:当てはまらない

		0	1	2	3	4	総合評価
授業改善の達成度	専門知識・技能に自信を持った指導			3.2			B
	授業の学習規律が成立している			3.7			A
	学習環境が整えられている			3.3			B
	ねらいにそった指導と評価を行っている			3.1			B
	わかる授業をめざし、創意工夫した授業を行っている			3.1			B
	生徒理解に基づく指導を心掛けている			3.6			A
学校運営の達成度	生徒を大切に生徒指導ができています			3.3			B
	情報発信			2.9			B
	学校安全			3.4			A
	メタ認知を心掛け、資質向上に努めている			3.3			B

0	1	2	3	4	
			3.2		B 1 自らの専門知識・技能に自信をもって指導している
			3.8		A 2 チャイムとともに授業を開始している
			3.8		A 3 始礼、終礼をきちんと指導している
			3.4		A 4 自分(教師)の指示に、しっかりと生徒が反応した指導ができています
			3.4		A 5 常に掃除が行き届くよう指導するとともに、率先している
			3.2		B 6 教材、教具、ICT機器等を常に整理整頓している
			3.4		A 7 掲示や教材・教具の配慮等を工夫している
			3.5		A 8 本時のねらいを明確にした授業を行っている
			3.1		B 9 ねらいが達成できたかを意図的・計画的に評価している
			2.9		B 10 生徒に達成感を実感させ、達成度を自己評価できるよう工夫している
			2.8		B 11 「協同的探求学習」など主体的・対話的で深い学びを意識した授業を取り入れている
			2.9		B 12 ICT機器を有効活用した授業を行っている
			3.2		B 13 計画的、意図的な発問・指示を適切に行っている
			3.4		A 14 授業における板書を大切に、構造的に整理する(創)ことができています
			3.0		B 15 道徳科による「対話的学び」を理解し、授業構想を立てている
			3.6		A 16 生徒の取組み方や習熟の程度に応じて、ほめたり励ましたりしている
			3.7		A 17 生徒一人一人の質問に丁寧に対応している
			3.5		A 18 学習内容の理解に応じた指導を行っている
			3.2		B 19 不登校の未然防止策の目的を理解し、機を失わず、継続した取組を行っている
			3.6		A 20 いじめの定義と発生の仕組みを理解し、いじめの未然防止に全力を尽くしている
			3.3		B 21 生徒が主体となった自治活動の意義を理解し、適切な支援を行っている
			2.9		B 22 保護者や地域の方への積極的な情報発信を行い、相互理解に努めている
			3.4		A 23 学校安全のリスクマネジメントのため、安全管理・安全教育を普段から行っている
			3.3		B 24 校訓と学校教育目標を基盤とした学年経営、学級経営、教科指導、生徒理解、生徒指導を行っている
			3.8		A 25 法令《道路交通法、体罰、個人情報、金品管理、不適切な行動・発言、人権、県条例(セクハラ、学校禁煙)》を遵守している
			3.6		A 26 保護者や地域から誤解を受けないような服装、身だしなみ、行動、接遇能力の向上に努めている
			3.2		B 27 前例踏襲に縛られず、生徒のために創造的な取組を生み出すことができる
			3.5		A 28 誰とも相互利益を目指した良好なコミュニケーションをとることができる
			3.1		B 29 PDCAサイクルの中で、目的と目標、手段を吟味し、たゆまぬ改善活動に努めている
			2.9		B 30 業務改善や勤務時間の適正化を意識している